



今年度から広報「こだま」は、PTA広報サポーターが発行しています。今回は第1号で皆様からいただいたご意見やアンケート結果を載せています。PTA活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

―― アンケートのご協力ありがとうございました！ ―――

12月に「PTA広報こだま第2号」を発行しました。

第1号でのアンケート結果で、デジタルデバイス使用に関する管理方法への情報交換を求めている声が届いたこと、タイムリーに社会では他国でのSNS法案が取り上げられたことから、デジタルデバイスに関するについて、緑新小の保護者の皆さまにアンケートに答えていただきました。

こだま第1号のアンケート回答が15名に対し、今回のアンケートでは124名の皆さまにご協力いただくことができました。ありがとうございます。第3号の今回は、その結果をお伝えしたいと思います。

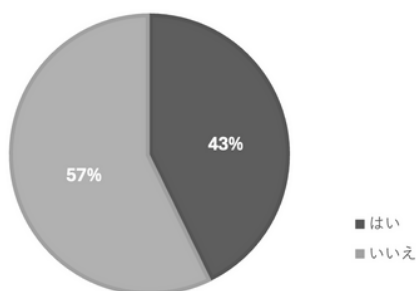
【今回のこだま】

1. アンケート結果と卒業特集号へ向けてのアンケートのお願い
2. 気になる「皆さんどうしてる？」の約束いろいろ
3. 知っ得！「スマホ18の約束」

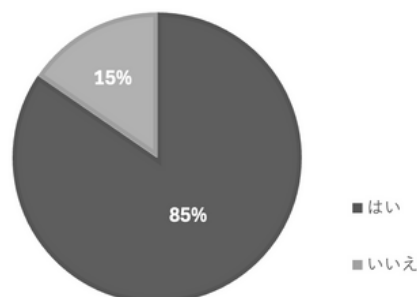


1. アンケート結果

- 1) 子どもが自由に使えるPC、スマホ、タブレットなど、友達と連絡が取れるツールを持っていますか？
(キッズ携帯を除く)



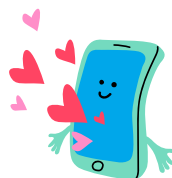
- 2) ご家庭の中でPC、スマホ、タブレットを使うにあたって、約束事がありますか？



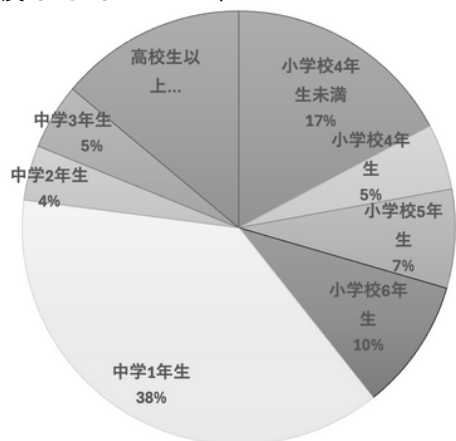
- 3) 約束事があるの方へ。それはどんな約束ですか？

(例：保護者管理で利用できる時間を決めている。利用できるアプリを保護者が管理している。等) 教えていただける範囲内で構いませんので、教えてください。

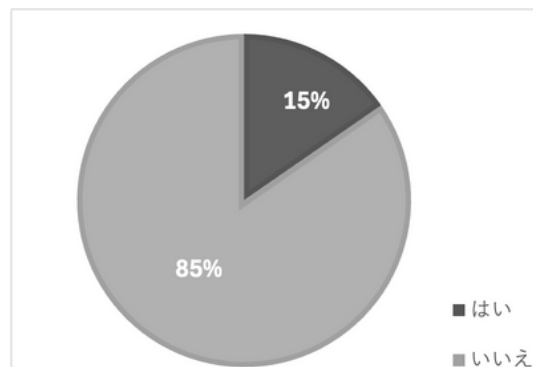
皆さまより、たくさんの「約束事」が寄せられました。
⇒ 2. 気になる「皆さんどうしてる？」の約束いろいろへ♪



4) お子さんには何年生からスマホを渡そうと思っていますか？(あるいは渡しましたか？)



5) アメリカで母親が息子に渡した「スマホ 18の約束」をご存知ですか？



⇒ 3. 知っ得！「スマホ 18の約束」へ♪

6) 「どんなことを知りたいか(読みたいか)」など希望がありましたらお聞かせください。

- お小遣いについて:
子どものお小遣いの決め方や管理方法、何年生から始めるかなどについて知りたいという意見がいくつかありました。
- 給食とレシピのリクエスト:
子どもが喜ぶ給食のメニューや、簡単に作れる副菜のレシピを教えてほしいというリクエストがありました。
- アンケートの内容:
「習い事」や「放課後の過ごし方」、「休日のお出かけ場所」など、アンケートを通じて他の家庭の育児の取り組みを知りたいという希望が複数寄せられました。
- 子どもの放課後の過ごし方:
放課後の過ごし方や友達の家遊びに行く際のルール(お菓子の持参、親がいない家には上がらないなど)について知りたいとの意見があります。また、地域で子供が過ごせる場所や施設の紹介も希望されていました。
- 習い事や塾の情報:
習い事や塾についての情報や就寝・学習時間、休日の過ごし方についての話題が出ていました。

第3号のアンケート結果はいかがでしたか？

今回のアンケートは、学校の協力をいただきマチコミでもアンケート配付をさせていただきました。長期休み期間中にもかかわらず、短期間で124名から回答をいただき広報サポーター一同嬉しい気持ちでいっぱいです。ご協力ありがとうございました。

皆さまから寄せられた「アンケート結果」や「知りたい内容」はどれも興味深い内容でした。

「知りたい内容」については次号以降にまとめていきたいと思っております。お楽しみに♪

また、広報サポーターと一緒に活動したい方、いつでも募集中です♪

【卒業特集号用アンケートご協力のお願い】

今年度の広報こだま最終号は「卒業特集号」を予定しています。

そこでは、子どもたちや保護者の皆さまが必要な情報を掲載したいと考えています。つきましては、お忙しいところ恐れ入りますが、以下に掲載します二次元コードよりアンケート配付いたしますので、ご協力いただけましたら幸いです。

「少し先を歩く中高生・社会人のお子さん」がいらっしゃる場合は、お子さんからの心強いアドバイスやコメントも歓迎いたします。卒業されるお子さんや保護者さんの後押しとなるような内容にしたいと考えています。



2. 気になる「皆さんどうしてる？」の約束いろいろ

1. 使用時間の制限:

多くの家庭で、スマートフォンやゲームの使用時間に制限を設けていました。例) ゲームは1時間、YouTubeは30分といった具体的な時間制限や、宿題が終わった後に使用可能というルールがご意見で多数寄せられました。また、平日と週末で使用時間が異なる場合もありました。

2. アプリの管理:

使用できるアプリは保護者が管理しており、アプリのインストールには親の許可が必要であったり、使用できるアプリの範囲も制限されているという約束が寄せられました。



課金やSNSトラブルは避けたいですね

3. 使用場所:

スマートフォンは基本的に保護者のいる場所でのみ使用でき、プライベートな空間(自室など)には持ち込ませないという家庭が多数。また、使用場所をリビングなど特定の場所に限定するルールもありました。



子どもと会話したいですね

4. 親の監視と見守り:

親と一緒にいるときのみスマートフォンを使用できるという家庭、使用時間やアプリの管理、さらに子どもがどのようにスマートフォンを使っているかを親がチェックする仕組みを作っている家庭もありました。

5. SNSや友達とのやり取り:

SNSや友達とのやり取りについても制限があり、基本的には家族や親戚とのみ連絡を取ることが許可されていたり、SNSのトラブルを避けるため、使用する際(特にグループラインへの参加)には保護者に報告と許可が必要であるという約束が寄せられました。

その他の約束事として、「歩きスマホ禁止」、「目を休める時間」や「使用前後に約束の確認」など、健康的に使用する工夫も寄せられました。



約束事は全体的に保護者が積極的にスマートフォンやアプリの使用を管理し、子どもの安全と健全な使用を確保するためのルールが決められている様子がうかがえました。

3. 知っ得！「スマホ18の約束」――――

アメリカのあるお母さんが、13歳の息子さんにスマホ（このケースはiPhone）を与えても良いか悩んだ末に作った、息子さんとの間の契約書です。アメリカで、読む人すべての共感を得たと言っても過言ではないくらいに感動を呼んだもの、とのこと。

日本では2013年1月にテレビ番組でスマホを持たせる際に、子どもといくつかの約束をしてプレゼントしたアメリカのお母さんのことを紹介。その後の反響が大きく、インターネット上や新聞、雑誌、書籍等で原文や訳文が多数紹介されています。以下は原文に近い訳文とのこと。

1. これは私の携帯です。私が払いました。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？
2. パスワードはかならず私に報告すること。
3. これは「電話」です。鳴ったら必ず出ること。礼儀良く「こんにちは」と言ってください。
発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対に。
4. 学校がある日は7:30pmに携帯を私に返却します。週末は9:00pmに返却します。
携帯は次の朝の 7:00amまで電源オフになります。
友達の親が直接出る固定電話に電話できないような相手なら、その人には電話もSMSもしないこと。
自分の直感を信じて、他の家族も尊重しましょう。
5. iPhoneはあなたと一緒に学校には行けません。SMSをする子とは直接お話をしましょう。人生のスキルです。
注：半日登校、修学旅行や学校外活動は各自検討します。
6. 万が一、トイレや床に落としたり、無くしたり、破損させた場合の修理費用は自己負担です。家の芝生を刈ったり、ベビーシッターをしたり、お年玉でカバーしてください。こういうことは起こります。準備しておいてくださいね。
7. このテクノロジーを使って、嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。
人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
8. 人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使ってSMSやメールでしないこと。
9. 友達の親の前で言えないようなことをSMSやメールでしないこと。自己規制してください。
10. ポルノ禁止。私とシェアできるような情報をウェブで検索してください。
質問などがあれば誰かに聞いてください。なるべく私かお父さんに聞いてね。
11. 公共の場では消すなり、サイレントモードにすること。特にレストラン、映画館や他の人と話すときはそうしてください。
あなたは失礼なことをしない子です。iPhoneがそれを変えてはいけません。
12. 他の人にあなたの大事な所の写真を送ったり貰ったりしてはいけません。笑わないで。あなたの高知能でもそういうことがしたくなる時期がやってきます。とてもリスクなことだし、あなたの青春時代・大学時代・社会人時代を壊してしまう可能性だってあるのよ。インターネットはあなたより巨大で強いからです。
これほどの規模のものを消すのは難しいし、風評を消すのも尚更難しい。
13. 写真やビデオを膨大に撮らないこと。すべてを収録する必要はありません。
人生経験を肌身で体験してください。すべてはあなたの記憶に収録されます。
14. ときどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。
携帯は生き物じゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。
流行に流されない、FOMO（自分だけが取り残されていると思うしまう不安感）を気にしない器の男になってください。
15. 新しい音楽、クラシック音楽、あるいは全員が聞いている音楽とは違う音楽をダウンロードしてください。
あなたの世代は史上もっとも音楽にアクセスできる世代なのよ。この特別な時代を活用してください。あなたの視野を広げてください。
16. ときどきワードゲームやパズルや知能ゲームで遊んでください。
17. 上を向いて歩いてください。あなたの周りの世界をよく見てください。窓から外を覗いてください。
鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください。
18. あなたが失敗したときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。
また1からスタートします。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

「こどもをメディアから守ろう！」HPより引用

既にモバイル・デジタルデバイスを持たせている家庭も、これからのご家庭も参考になりますね。私たち保護者も改めて自分たちの使い方も見直すきっかけにいいかもしれません(笑)。

文責：中右、餌取